

解析サービス紹介

真菌叢ITS領域解析の新オプション

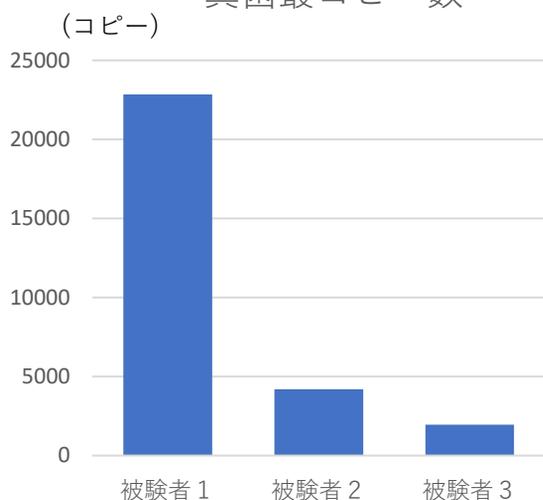
ITS領域コピー数解析

肌の上には様々な微生物が生息し、肌の状態に影響を与えることが知られています。微生物はアクネ菌やブドウ球菌といったいわゆる「細菌」と、カビや酵母の仲間である「真菌」に大別されます。肌の上に生息する代表的な真菌としては、マラセチア (*Malassezia*) が知られています。

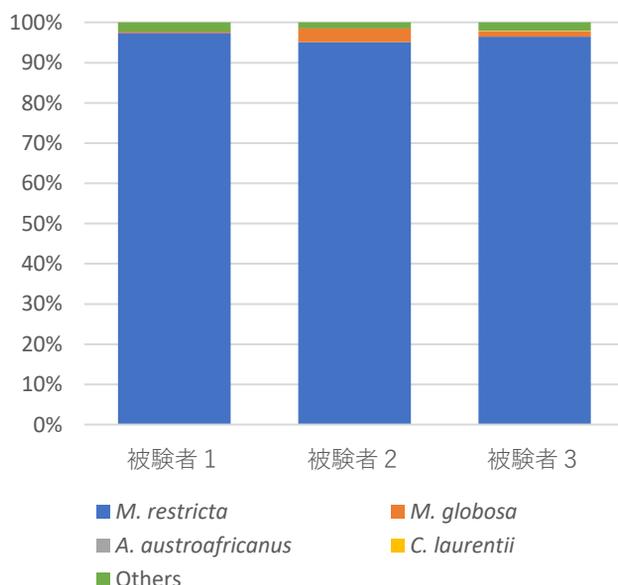
当サービスでは皮膚微生物叢サンプルから抽出したDNA抽出物を用い、サンプル中に含まれる真菌の総量を計測します(下図左)。真菌が共通してもつDNA配列であるITS領域のコピー数を測ることで解析します。

弊社は定量性・再現性に優れた独自の微生物叢採取キットも販売しています。この採取キットと本コピー数解析によって、皮膚上の真菌量の変動を正確にモニタリングすることが可能です。次世代シーケンサーを用いた真菌叢の組成比解析(下図右)と組み合わせご利用いただけます。

真菌叢コピー数



真菌叢組成比



既にDNA抽出済みのサンプルを用いた解析も承っております。

ご希望の条件に合わせた解析にも対応致しますので、お気軽にお問い合わせください。

注目TOPICS

日本研究皮膚科学会第46回年次学術大会・総会にて、株式会社KINSが「郵送検査を用いた皮膚微生物フローラと肌状態に関する解析」を発表しました。

株式会社KINSと弊社は個人向けの細菌叢解析サービスにて協業しています。今回の研究においてもMy Skin®キットを用い、弊社で細菌叢および真菌叢の解析を行いました。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000032.000048644.html>